|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |
| **学校経営推進費　評価報告書（１年め）** |
| **１．事業計画の概要** |  |  |  |
| **学校名** | 大阪府立摂津高等学校　全日制の課程 |
| **取り組む課題** | 生徒の学力の充実　　生徒の希望する進路の実現 |
| **評価指標** | ・スタディーサポートにおけるGTZ平均・授業アンケート「興味関心が高まった」、「知識技能が身についた」における肯定率・国公立大学・難関私大合格者数 |
| **計画名** | 校内全面無線化による学校と家庭をシームレスに結ぶ学習環境構築と視聴覚教材を活用した授業改善による学力の充実 |
| **２．事業目標及び本年度の取組み** |  |  |  |
| **学校経営計画の****中期的目標** | 1 自信をもてる確かな学力の育成と夢や希望の実現に向けた進路指導の充実（１） 次期学習指導要領を研究し、各教科の「つけたい力」を明確にしたうえで計画的な授業研究により授業力を向上させるイ 各授業で「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の実現をめざす活動を中心に据え、現代的な諸課題への対応力の育成を図る。 |
| **事業目標** | 令和２年度までに国公立と難関私大合格者150名以上、センター試験100名以上受験をめざす。（関関同立産近甲龍合格者H27：74名、H28：129名、H29：69名） |
| **整備した****設備・物品(数量）** | プロジェクタ30台（全普通教室）、Cast端末30台（全普通教室）、第２学年用無線アクセスポイント９台（第１・３学年についてはすでに整備済み） |
| **取組みの****主担・実施者** | ○ 環境構築・整備　―　校務情報PT○ 授業改善　　　　―　授業力向上PT○ 学力定着　　　　―　進路指導部 |
| **本年度の****取組内容** | 全HR教室28室と授業活用の多い展開教室、会議室の計30室に、30台のプロジェクタ、HDMIケーブルのコンセント、校内全面無線化のためのアクセスポイントを設置完了した（12月末）。Wi-Fi運用も含め、１月から活用している。すでに発行しているGoogle Apps for Educationのアカウントや、作成がすでに進んでいる数学科の反転授業用ビデオクリップ、個人的な活用を開始したスタディサプリ等と組み合わせて、授業においてプロジェクタの活用を進めていく取組みが様々な教科ではじまった。 |
| **成果の検証方法****と評価指標** | スタディーサポートと進路マップにおけるGTZの推移　→　３学年とも最終回となる１月の結果でC２以上をめざす。授業アンケートの「興味関心が高まった」 →　目標85%（H27：76.5%、H28：80.0%、H29：80.7%）→81.6%授業アンケートの「知識技能が身についた」→　目標85%（H27：76.8%、H28：81.5%、H29：82.0%）→83.5%設置が２学期終了後であったため、評価指標への影響は限定的であると考えられるが、授業アンケート結果は向上が見られた。 |
| **自己評価** | 授業アンケートの「興味関心が高まった」 →81.6% （△）授業アンケートの「知識技能が身についた」 →83.5% （△）若い教員を中心に現在約40％の教員が活用。「設備があれば使う」という教員も37％おり、今後は活用する教員を増やして行くことが目標である。また、教員だけでなく、生徒もICT機器を使ったプレゼンなどの活用ができるようにしていく計画である。 |
| **次年度に向けて** | 今年度整備した機器を年度当初から使用することができるため、それらを活用した生徒の興味関心を高める授業、知識技能を身につける授業を行う。また、校内研修等を実施して機器を使用できる教員を増やし、学校全体での活用を進める。Wi-Fi環境整備により、教材等を格納しているポータルサイト「摂津コモン」へ、生徒に自分のスマートフォンでアクセスさせることができるようになった。授業での活用をはじめているが、このサイトの学習コンテンツを増やし、さらに自宅学習への活用も検討している。 |